

遠隔医療等推進WGの方向性について（案）

平成22年3月11日

1. 検討課題

- (1) ICTの活用によって医療システムの課題を解決する可能性について：効果や優先度の高いもの
- (2) ICTの活用を想定したときの、データを中心とした健康・医療への新しい取り組みについて
- (3) ICTの活用についての医療費削減の可能性について
- (4) ICTの活用にとまなう社会的、技術的、制度的課題について
- (5) 「総合特区」などを活用することによる特例措置を前提とした実証実験プロジェクトの可能性

【例】

- 医師不足による患者側の不安と負担の緩和のためのICTの活用
 - ・ バイタルデータ等の遠隔管理と遠隔診療 等
- 医師間の相互支援によって医師不足などによる課題を緩和するためのICTの活用
 - ・ 専門医による遠隔画像診断、遠隔指導・助言 等
- 地域医療連携の促進のためのICTの活用
 - ・ 医師の負担の軽減策、情報共有、予防から治療・入院などの流れの効率化 等
- 中長期的な社会保障費の削減に資するICTの活用
 - ・ 生活習慣病の予防や悪化防止に焦点を当てた遠隔医療・相談
 - ・ 日常の健康情報の管理
 - ・ レセプトのオンライン申請、レセプト情報の活用 等
- 遠隔医療が必要とされる範囲
 - ・ 処方箋交付、生活習慣病管理等
 - ・ 遠隔医療の対象範囲の明確化：厚生労働省通知別表の7疾病以外のもの
 - ・ 地域範囲：離島等の交通不便地域以外の地域における有効活用
- コストへの対応（持続可能な社会システムにするための方策）
 - ・ 経済的インセンティブシステムの作る方
 - ・ 診療報酬改訂の可能性 等
- 支援体制と技術インフラ
 - ・ 地域の実施体制と広域の支援体制、国／自治体による支援
 - ・ 健康医療情報の流通管理基盤、管理方法 等

2. 成果の反映

- 「総務省タスクフォース」、「遠隔医療の推進方策に関する懇談会」（総務・厚生労働両大臣懇談会）における議論・検討に反映
- 「1」の検討課題の実証に資するモデル事業（※）の実施に反映

※平成22年度予算案：地域ICT利活用広域連携事業 82.0億円

（国から地方自治体等への委託事業（1事業当たり2億円程度）。4月に公募予定）